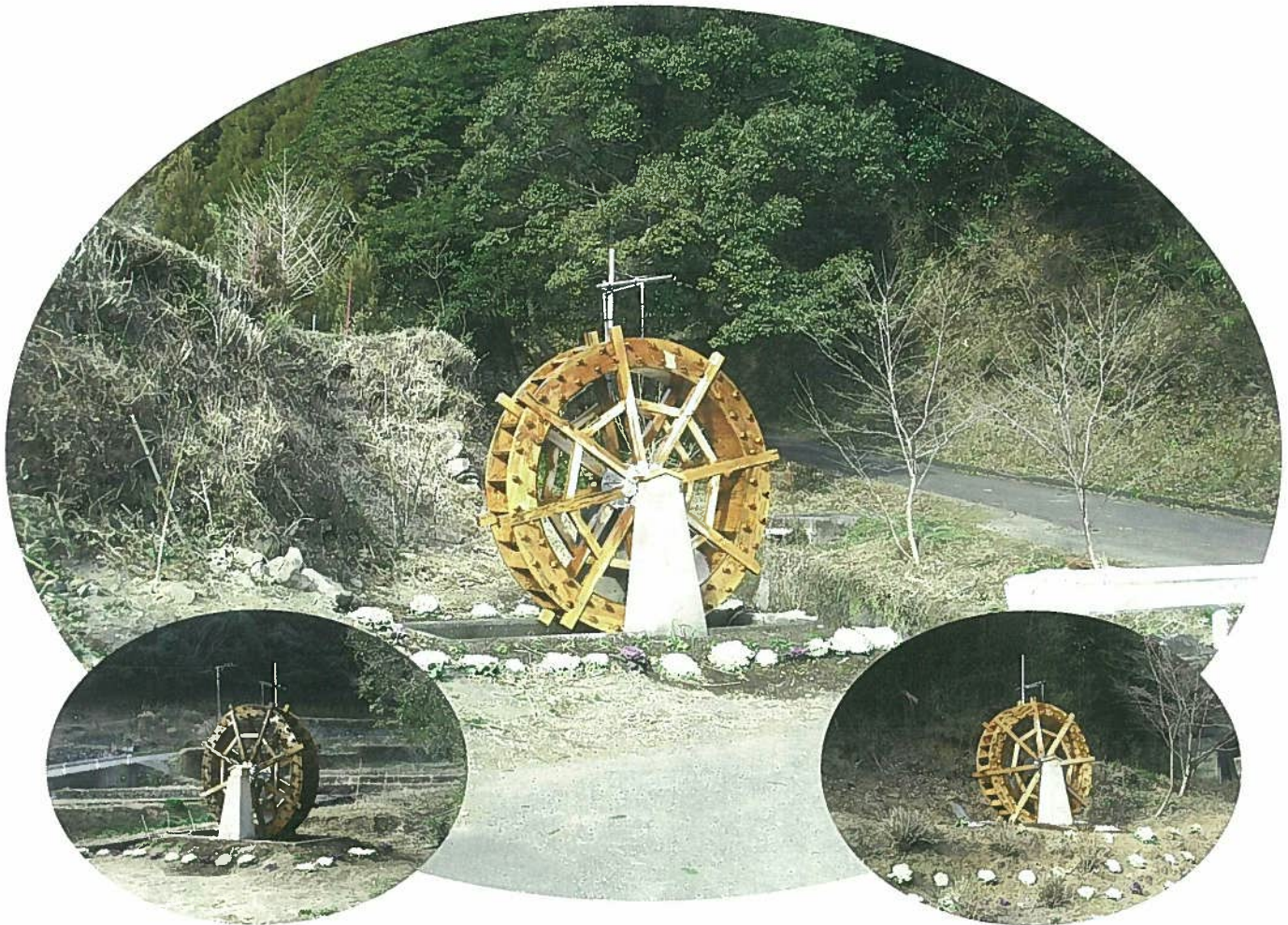


# 議会だより

発行編集：日之影町議会報編集委員会



事業名 平成22年度きらり輝く山間地農業活性化プロジェクト事業  
いきいき集落認定  
水車と紅葉の里づくり(阿下集落)

平成22年度 補正予算(経済・雇用対策) .....	p2
施政方針に対する総括質疑 .....	p2
平成23年度 一般会計予算(経済対策) .....	p3
予算審査特別委員会報告 .....	p3
一般質問(7名) .....	p4



### 3月定例議会

第一回定例会は、三月二日から十八日までの会期で開かれ、町長提案二十七件、議員発議案三件を慎重審議し可決した。  
一般質問には七名が登壇、十二事項について町政を質した。



■平成22年度  
一般会計補正予算  
7,411千円 増額

■平成22年度  
予算総額  
約50億8千万円

(理由)

歳入においては、普通交付税の増額、歳出においては、病院事業会計繰出金の増額、住民生活に光をそそぐ交付金事業、道路整備交付金事業の追加。ケーブルネットワーク運用管理費、移動通信用鉄塔整備費の減額等によるもの。

### 条例制定

◎ひのかげケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の制定について(可決)  
この条例は、ひのかげケーブルネットワークが4月1日から開局するため、施設の設置及び管理等について定める条例を新たに制定するもの。

### 条例改正

◎日之影町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(可決)  
この条例は、携帯電話の不感地域を解消するため、平成19年度から事業実施している条例の一部を改正するもの。  
見立地区・追川地区鉄塔施設の追加  
◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
更に水源の里集落への目配りや住民主体での元気な集落づくりを支援活性化していくため、条例に集落支援員の報酬額を加えるもの。  
◎日之影町特別会計条例の一部改正  
老人保健特別会計は、高齢者の医療の確保に関する法律により、平成22年度までの設置規定であり、設置義務がなくなり、条例から削除するもの。

### 総括質疑

施政方針に対する総括質疑  
(主なもの)  
総務文教常任委員会

- 問 町税が対前年比3・4%の減である。今後も町税の増額は期待できない。財源対策は。
- 答 歳入の83%が依存財源である為、交付税等の情報収集に努め、歳入の確保に努める。
- 問 消防の常備化を進める中で、消防団員の士気の低下があつてはならない。
- 答 本町の消防団は、自治消防団としての誇りと自覚を持つて職務に精励している。
- 問 通所介護事業所に対する助成の内容は。
- 答 遠隔地(15km以上)の通所者の送迎に要する経費の助成。
- 問 子ども達を心豊かに育てる教育のまちづくりは。
- 答 小学校においては、主体的に学ぶ子ども達の育成と言うテーマを掲げ、基礎学力の向上、学習の定着化を図る取り組みを行っている。  
中学校においては、研究授業の充実、対外的な学力向上の取り組み等を踏まえ学習意欲の醸成を図っている。
- 問 小学校給食の一元化の過程は。
- 答 本年の予算で宮水小学校の給食調理場を改修し、24年度の二

### 経済建設常任委員会

- 問 本町で最も大きな企業が撤退する。雇用の確保は。
- 答 企業誘致は厳しいが、制度事業等に積極的に取り組み、定住自立圏形成の協定書を踏まえた延岡市のクレーパーク整備の企業進出のときに一緒に進める。
- 問 住宅団地の整備は。
- 答 町内でインフラの整備された地域、更に所有権移転の容易な箇所の調査をしている。
- 問 農林業の振興策は。
- 答 農林業の振興策は、本町の重要施策として、毎年度取り組んでいる。本年度も新規の作目の導入、有害鳥獣の捕獲も積極的に取り組む。
- 問 水源の里振興のまちづくりは。
- 答 地域おこし協力隊、集落支援員等のサポート、更に十二地区協議会との連携を密にして事業を推進する。
- 問 森林セラピー基地のまちづくりは。
- 答 森林セラピーをタイトルにした特産品の開発、自然の景観を生かした保養関連事業の導入、観光施設の整備等、多目的な事業を展開したい。
- 問 広域農道への対応は。
- 答 関係する深角集落と連携を密にして、24年度採択に向けて取り組んでいる。

# ■平成23年度

# 一般会計予算

## 総額44億3,200万円

(対前年費 975万4千円 2.2%増)

### ■主な新規事業

・小学校給食施設の改修事業

約二、二〇〇万円

・西臼杵地区広域農道の整備負担金

約二、二四〇万円

・有害鳥獣対策費

約九三〇万円

・鹿川交流センター(つりがね)の屋外調理場整備と誘導看板設置等

約八〇〇万円

・子宮頸がん等ワクチン接種事業

約六九五万円

・議会費 議員共済負担金等

約六、六〇〇万円

・総務費

約六四、一〇〇万円

・民生費 国民健康保険事業

繰出金等

約八三、二〇〇万円

・衛生費

病院事業繰出金等

約三八、七〇〇万円

・農林水産事業費

約七〇、五〇〇万円

・商工費 観光施設改修事業費等

約一四、三〇〇万円

・土木費

約三二、〇〇〇万円

・消防費

約五、九〇〇万円

・教育費

約二八、七〇〇万円

・災害復旧費

約二、八〇〇万円

・公債費

約九三、五〇〇万円

### 予算審査特別委員会

#### ■委員長報告(要旨)

委員長 佐保満男

今日のグローバル化の時代、世界の政治、経済の動向が、本町の様な中山間地の隅々迄、瞬時に影響を受け、更にTPP、EPA等の外的起因による将来への不安も増大している。

地方主権、分権型社会に移行する中、交付税の一括交付金化等、国と地方の関係の再構築、内的には、確実な人口減少と高齢化、益々想定を超えたハードルとなり、増大する介護、国保等の民生費、各種産業振興対策、諸社会資本整備等、難題が山積である。行政も更に意識改革を図り、我々議会も従来のチエツク機能から施策提案出来る様に研鑽しなければならぬ。

特に重要なのは、目的を共有する者同志の信頼関係である。町政の大きな新規の施策等については、議会との協議と論議が必要不可欠であり、一層の配慮が必要である。職員の内、自由活発な発想に期待し、住民参画・住民共働・共汗こそがキラリ輝く町づくりにつながるものと確信するものである。

### 高千穂鉄道財産審議 特別委員会

#### ■中間報告

委員長 甲斐喜夫

本委員会は目的どおり観光開発と産業振興の一帯的振興を図る目的で立ち上げた委員会であります。今回は、高千穂鉄道整備基金の利活用にて槇峰駅・温泉駅の継電室・長谷川橋梁・深角橋梁・その他トンネル封鎖工事等々について現地調査を踏まえ、検討審議した結果については、次のとおりの方向性で一致。

①槇峰駅ホームについては、地元民の意向もありそのまま残し、槇峰駅・温泉駅継電室については撤去。

②長谷川橋梁については、安全を考慮し、撤去。

③深角鉄橋については、トンネルの利活用面と併せ考え、深角駅公園化構想もあり、しばらく地元民の意見を聴きながら対処すべし。

今後、特色ある郷土づくりの為に官民一体となり、尊い遺産を無駄にすることなく、山里に人々を呼び込める町づくり、村づくりの核となるよう町民の英知を結集することに期待したい。

### 所管事務調査報告

#### ■総務文教常任委員会

教育行政、複式学級等の実態調査

本町の小中学校は、学校、家庭との連携のもと、職員体制、各学年の子どもの状況等を勘案しながら、それぞれに創意工夫され、学力向上、社会性豊かな児童生徒の育成に積極的に取り組まれており、教職員の熱意、やる気を強く感じた。いじめ問題等今日課題にも、定期的かつ継続的に取り組まれている。本町の将来を担う子供達の健全な育成を更に希望する。



学校訪問



長谷川鉄橋



# 一 般 質 問

## 「健康保持と増進策は」

飯 干 靜 香

**問** 本町の高齢化は41%を超え、平成21年度の本町の一人当たりの医療費は377,967円と県下で最高となっている。

一人当たりの医療費を下げるには、町民の健康づくりを全町あげて取り組むべきではないか。医療費を減らしていく具体策は。

**町長** 医療費が県内で一番高くなっている要因は、「脳出血等の循環器系の疾患」「がん」「精神障害」の費用が高額医療を占めている。

生活習慣病等は、早期発見・改善・治療が必要。

特定健診等も出来るだけ多くの方々に受診しやすい環境づくりに努めている。

健康ウォーキングやラジオ体操等は、年齢・体力に併せながら自分に合ったペースで行っていただきたい。

保健センターでも、いろいろな方法で、手助けや相談を行っている。

4月から開局のケーブルテレビの日之影町行政放送等で健康増進について、町民の皆さんには周知していきたい。健康に対する意識づくりの高揚と実践に努めたい。

## 「日之影温泉駅の経営は」

**問** 日之影温泉駅は16年が経過、国県からの交付金や補助金、町民の尊い税金等で、多額の支援をしているが、その状況を町民は知りたい。

**町長** 平成7年にオープン。総事業費49,400万円、管理委託料は約26,500万円、17年度以降の収支決算は、年間約2,000万円の赤字を生じているが、入湯税として年間約500万円が本町に租税公課として納入されている。



血圧・ストレス度は…

## 「福祉推進策を問う」

甲 斐 喜 夫

### 高齢者福祉の現状と課題

**問** 特老等待機者が多い。今後の施設づくりはどうする。

**町長** 介護保険施設として特老やグループホームについては、現行の介護保険制度での整備は困難。今後、認知症サポーターなどによるボランティア活動を推進していく。

**問** ひとり暮らしの人の集団化はどう考える。

**町長** 生活支援ハウス利用の推進、ボランティアの協力により対応していく。

**問** 団塊の世代を迎えての元気なお年寄りづくりとなるボランティア募集が必要と考えるが。

**町長** シルバー人材センターの需要が益々増加するものと思われる。

### 保険予防を問う

**問** 保健予防行政の現状と課題についてどう考える。

**町長** 特定健診の受診率を向上させることにより、確かな保健指導や食生活の改善に努めていく。

**問** 保健予防・指導分野での人材不足。特に保健師等の増員策についてどう考えるか。

**町長** 現在4名の保健師で頑張っている。勤務が不規則、今後の増員に対しては検討が必要。

## 「農林業の振興推進策を問う」

**問** 県では森林づくり等検討しているが本町は、特用林産の産地づくりで経済性の高い森林環境づくりを進めていく必要があると考えるが。

**町長** 本町には約20%森林整備で税が還元されている。

**問** 森林環境づくりという面で食文化の追求で「きのこ」食を提案したいがどう考える。

**町長** 今後検討し、意欲のある人には支援する。

**問** 口蹄疫に伴う人工授精自粛使途支援策について。

**町長** 本町独自策として約2千664万円、更に県の義援金の中から一戸あたり10万円、プラス5万円支援している。

**問** 本町独自の「口蹄疫復興ひのかががまだせ奨励金」を提案したいがどう考える。

**町長** セリ市平準化するまで3年以上かかる。この問題は三町とJAで検討していきたい。



どうする畜産経営

「鳥獣被害撲滅を」

大村直登

**問** 昨年度の約5倍で実施予定の鳥獣被害緊急総合対策事業の内容と林地への適用は。

**町長** 地域ぐるみの被害防止体制検討協議会開催、捕獲担い手育成・個体数調整、花火等追い払い忌避剤導入、

牛の放牧・放任果樹や雑木林等の除去等、侵入防止柵等の設置、捕獲鳥獣の処理加工施設、焼却施設等である。林地を含めた設置を推進する。

**問** 本町への配分予想額と集落への募集時期は。

**町長** 本町への予算配分割当は県にお願いしていく。県からの内示があり次第、再度、要望を調査する。

**問** 狩猟用免許の取得費、銃・ワナ等の維持費の補助等、支援はできないか。

**町長** 県に税金、手数料等の軽減を願っている。今後、支援策が重要であり、県の採択を他町村と連携し要望していきたい。



有効な金網設置

「水源の里の展望は」

佐保満男

**問** 条例制定後三年を経過した成果は…。

**町長** 四集落での座談会の開催、集落支援員、地域おこし協力隊の配置や水源管理共同作業、草刈等の支援隊を派遣。敏速な対応をした。

**問** 今後の課題は…。

**町長** 高齢化・人口減少に伴う意識の低下が危惧される。交流事業や空家の活用等住民対話で課題に取り組む。

**問** 自然流水飲用家庭の水質検査をしてみる必要があるか。

**町長** 環境にも変化が見受けられる。当然必要と思うので進めてみたい。

**問** 高齢者家庭周囲の雑木で影響がみられるが。

**町長** 調査をしてみる。

**問** 過去の災害経験を生かし、ヘリポートの設置の考えは。

**町長** 既に計画の中に策定をしているので、どこに必要か場所を含めて検討していく。

**問** 町道等の側溝がつまりやすく、除去が大変、対策はないか。

**町長** それぞれ開設に伴う規程があるので必要性を含めて検討の余地がある。

「農業政策は」

**問** TPPがもしも締結された場合、本町農業が受ける影響をどう見る…。

**町長** 例外無き関税撤廃が行われた場合、本町で米・畜産を中心に4億1千万円の減少、更には多面的機能を有するマイナス面は8億6千万程見込まれ、獣害の拡大等、金額では表せないものとなると見ている。

**問** 農林業従事者の高齢化が著しい、今後の課題は…。

**町長** 農林業の展望は後継者問題を含め、更に厳しさが増してくるものが予想される。

今後は栽培の容易な、露地野菜の生産促進と施設園芸・果樹についても栗・ユズ剪定班の育成、作業路の整備、6次産業も含めた農業政策に取り組む、今後はTPP交渉の行方大きく左右されるのは明白で、関係機関と共にアンテナを高くし情報収集をしながら、農業振興対策を図っていく。

**問** 水源の里基金の運用について。

**町長** 過疎債をソフト面に活用出来る事から、6年間一億円積立。水源の里支援隊の設置や課題解決に向け、柔軟に対応し、地域住民・商工会・社協等、各種団体等で構成する推進協議会に於いて現状、目的、必要性を十分に審議した上で効果的運用を図っていく。



里づくりを語る



### 「23年度の重点施策は」

坂本和雄

**問** 2期目の初年度におけるまちづくりの指針と展望は。

**町長** 安心安全で利便性に富んだまちづくり、農林業等産業振興のまちづくり、自然環境を生かしたまちづくり、水源の里いきいき集落振興のまちづくり、森林セラピー基地のまちづくり、心豊かに育てるまちづくり、優しい福祉のまちづくり、の7項目の重点施策を目標に、人も産業も元気で安全なまちづくりを推進したい。

**問** 第四次日之影町長期総合計画と、町民の提言、要望等の整合性は。

**町長** 平成17年2月に日之影町産業対策審議会に諮問、答申を受け、本町発展の指針として、平成26年度を目標年次として、ローリング方式（見直し、修正）で行っている。

平成23年度の予算では、日之影町過疎地域自立促進計画との整合性を保ち、更に、第四次日之影町行政改革大綱に示された事項を予算に反映し、限られた財源で、町民の行政需要に意を用い、対応して行きたい。



八戸地区協議会の植樹

### 「人事管理を問う」

**問** 職員に資質、能力等向上のための研修は。

**町長** 22年度においては、宮崎市町村振興協議会が開催する新任課長研修、一般職員研修、専門研修等8部門の研修に11人を参加させ、また、県町村会の支援を受け、本町

独自に、管理監督者研修、接遇研修、勤務評定評価者研修等を外部専門講師を招き、4研修に81人を参加させ、職員の勤務能力の向上、増進に努めた。常日頃から、全体の奉仕者として町民の信頼に応えるよう努め、勤務の内外を問わず、町民から不審を抱かれるような行動は、厳に慎むように、更に、職員の品位の保持等についても、指導を行っている。

**問** 職員の勤務評定と措置については。

**町長** 平成18年度から勤務評価の方法は、勤務評価の基準日を10月1日とし、各課長が所属職員の評価を行い、各管理職の評価は副町長、教育長、副院長等が行い、11月下旬に勤務評定審査委員会を開催し、評価を行っている。また、平成21年度から、各職員ごとに自分又は係りの取り扱い事務について、一年間の目標管理を設定させ、自己評価、評価者評価を行い、職員の勤務に対する意欲の醸成を図っている。

### 「町内林地の保全対策は」

佐藤 功

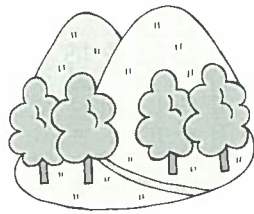


職員研修

**問** 海外資本による林地買収に関しての検討を問う。

**町長** 本町は25・426畝の森林を有するが、今のところ県内での外国資本による売収事実は確認されていない。しかし、豊富な水源を有する本県森林も今後買収される可能性は否定できない。森林は農地法と違い、転売規制がなく、当事者間で売買が成立する現行法の下では、所有権移転の把握と対処が難しいのが現状である。町としての対応は国の動向、県、他市町村と連携した協議会の設置等

の検討や、森林組合、林業関係者との連携強化を含め、情報収集や対策の検討を行うよう努めて参りたい。また、森林所有者の方々には「森林の公益的機能」を更に周知し「自分たちの町や森林は自分たちで守る」意識の高揚を図っていきたい。



**問** 地籍調査も終了し、地権者も確定したと思うが、町外地権者割合と面積はどれ程か。

**町長** 地籍調査事業は昭和44年度開始し、43年を要し、平成23年度完了の運びとなる。調査完了を待たなければ正確に把握できないが、現段階の数値は、町内山林地所有者は1,157名。うち町外所有者は177名で15.3%。国有林を除く町内山林面積は、

17,736名。うち町外所有者は1,975名で11.1%。なお、平成27年度に地籍調査完了後の数値が確定する予定である。

**問** 町民、県民、国民全ての共有財産ともいえる森林及び林地の保全対策に関する条例制定が必要ではないか見解を問う。

**町長** 森林は、水源涵養機能、山地災害防止機能、生活環境保全機能、保健休養機能といった公益的機能を有しており、国民の共有財産である事は言うまでもありません。しかし、森林はあくまでも私的所有財産であり、林家個別の事情による森林売買を、現行法制度の基では条例制定による規制は難しいと考える。



林地の保全対策

## 「飲料水の対策は」

甲斐健司

**問** 安心して利用できる生活飲料水確保について、早急に対策を行う必要があると考えるが。

**町長** 取水状況の現状を調査するとともに、新たな水源確保、水源の補給水の確保対策を講じていきたい。

**問** 一部、他自治体が実施している水源上部の天然林等の確保の為に地権者・所有者との協議を行い、水源を確保すべきである。

**町長** 企業や環境森林税等を視野に入れながら、保水対策を、今後しっかりと取り組みたい。

**問** 漏水対策についても、しっかりと対策をやるべきと考えるが。

**町長** これについても計画的に実施していきたい。



水のかれた水源池

## 「一般質問の一部取り消しと謝罪」

飯干 静香

私の認識不足、また理解不足により、議場という公の場で、個人及び団体の名譽、権利を侵害するような発言があったことは、誠に遺憾であり、村おこし総合産業株式会社を始め関係者の皆様方に多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。更に今後は、多くの町民の皆様方の声に耳を傾けて、信頼される議員活動に精進してまいりたいと思えます。従いまして、一般質問の温泉駅の施設利用状況等については一部取り下げてくださいたく、深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

## 行政報告（教育長）

### 平成22年度日之影小・中学校の学校評価等の行政報告

この報告は、毎年学校教育の充実及び教育委員会事務事業の効率化を図るために行われるものである。内容については次のとおり。

- 一、教育委員の活動
- 二、教育委員会事務局が管理・運営・執行する事務
- 三、教育委員会が管理・指導・執行を教育長に委任している事務

### 学識経験者の考察

全体的にみて、事務事業は適正に実施されており、多様で、広範な教育活動に堅実に取り組み、成果を上げていると言える。今後は評価の低かった項目への配慮を含めて、現状を詳しく分析しながら、将来を見据えた教育的課題を明確にして、その解決に努められることを期待したい。

## 意見書の提出（国への要望）

- 一、高病原性鳥インフルエンザ対策の件について
- 二、新燃岳噴火による降灰被害への支援に関する件について
- 三、森林・林業・木材産業施策の積極的な推進について

## 第一回臨時会

（平成23年1月21日）

一般会計の補正を3億4773万8000円とし、主な事業費は、きめ細やかな交付金1億7949万円、住民生活に光をそそぐ交付金1300万円、水路整備かん排事業補助及び林業整備9420万円、町道整備等で6075万円を可決した。

### 町道認定

町道八戸下線、県道日向八戸停車場線から日之影温泉駅梁崎線接続点までの80mを認定





「町民のつどい」700人が参加



議会に祭りの案内をいただきました。  
小崎神社例祭  
(小崎公民館)

平清水まつり  
(平清水公民館)  
八戸稲荷神社初午大祭  
(八戸本通り公民館)

## 議会のうごき

(平成23年1月～平成23年4月)

- |                 |                                 |                          |  |                             |                            |   |                             |                          |  |  |  |
|-----------------|---------------------------------|--------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|-----------------------------|--------------------------|--|--|--|
| 1月17日(月)～19日(水) | 宮崎県後期高齢者<br>広域連合議会議員<br>視察(右手県) | 20日(木)議会運営委員会・<br>全員協議会  | 21日(金)平成23年第1回臨<br>時会<br>経済建設常任委員<br>会所管事務調査 | 22日(土)JA研修会<br>(県農政水産部講演会)  | 24日(月)西臼杵郡林活議連<br>役員会(高千穂) | 26日(水)総務文教常任委員<br>会所管事務調査<br>(宮水小学校・日之<br>影中学校) | 31日(月)西臼杵郡衛生組合<br>議会        | 2月1日(火)郡議長会県要望           | 3日(木)町道・尾狩く町柵<br>の木間建設事業期<br>成同盟会発会式                       | 4日(金)TR特別委員会現<br>地視察<br>宮崎部品工場施設<br>現地視察 | 18日(金)全員協議会<br>総務文教常任委員<br>会所管事務調査<br>(寿久の里・八戸作<br>業所) |
| 1月17日(月)～19日(水) | 経済建設常任委員<br>会所管事務調査<br>(横迫)     | 20日(日)町民のつどい             | 21日(月)日之影・西臼杵森<br>林組合・旭化成と<br>の交流会           | 23日(水)宮崎県北部広域行<br>政事務組合議会   | 24日(木)郡林活議連視察研<br>修(日田)    | 25日(金)議会運営委員会・<br>全員協議会                         | 3月1日(火)全員協議会<br>高千穂高校卒業式    | 2日(水)平成23年第1回定<br>例会(開会) | 3日(木)五ヶ瀬中等教育学<br>校卒業式                                      | 4日(金)平成23年第1回定<br>例会(総括質疑)               | 7日(月)一般県道向山日之<br>影線整備促進期成<br>同盟会現地視察及<br>び要望           |
| 8日(火)～9日(水)     | 特別委員会(予算<br>審査)                 | 11日(金)特別委員会(予算<br>審査 総括) | 13日(日)「あさひの森」植樹<br>祭                         | 15日(火)平成23年第1回定<br>例会(一般質問) | 16日(水)日之影中学校卒業式            | 18日(金)平成23年第1回定<br>例会(最終日)                      | 22日(火)グループホーム<br>「寿久の里」落成式典 | 23日(水)老人大学及び高齢<br>者教室卒業式 | 24日(木)町内各小学校卒業式<br>行財政改革特別委<br>員会・議会運営委<br>員会・議会報編集<br>委員会 | 28日(月)西臼杵郡衛生組合<br>議会                     | 11日(月)町内小学校入学式<br>15日(金)戦没者慰霊祭                         |
| 8日(火)～9日(水)     | 特別委員会(予算<br>審査)                 | 11日(金)特別委員会(予算<br>審査 総括) | 13日(日)「あさひの森」植樹<br>祭                         | 15日(火)平成23年第1回定<br>例会(一般質問) | 16日(水)日之影中学校卒業式            | 18日(金)平成23年第1回定<br>例会(最終日)                      | 22日(火)グループホーム<br>「寿久の里」落成式典 | 23日(水)老人大学及び高齢<br>者教室卒業式 | 24日(木)町内各小学校卒業式<br>行財政改革特別委<br>員会・議会運営委<br>員会・議会報編集<br>委員会 | 28日(月)西臼杵郡衛生組合<br>議会                     | 11日(月)町内小学校入学式<br>15日(金)戦没者慰霊祭                         |
| 4月2日(土)議会報編集委員会 | 6日(水)議会報編集委員会                   | 8日(金)日之影中学校入学式           | 10日(日)中川チューリップ<br>まつり・丹助岳山<br>開き             |                             |                            |   |                             |                          |  |  |  |

## 編集後記

昨年は口蹄疫、今年になつて鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火と、度重なる被害が続き、宮崎県も大変でした。  
ようやく落ち着いたかなと思つていた矢先の出来事でした。

三月十一日に発生しました東日本大震災による大惨事が起き、自然が引き起こす現象を、画面等を通してではありませんが、ほんとうの恐ろしさを知らされました。

災害に遭われました方々には、心からお見舞いと哀悼の意を表したいと思います。現地の被災者の皆様には、一日も早く元気を取り戻していただけるようお祈り申し上げます。



S・I